

それ剣は瞬速、心気力一致

剣道を始めて43年の月日が流れた今日、感謝と反省そして飛躍の想いが自分の脳裏の中で暴走している。

人間の年齢に例えると厄年を過ぎた年数であり、体力、気力も徐々に衰えて来ている事は、もはや隠す事が出来なくなってきた。私は、藤沢第一中学校（藤沢一中）に入学した時に剣道を始めました。

きっかけは、幼なじみの先輩が一中剣道部の主将を務めていたその先輩の勧めで迷う事なく一中剣道部に入部した。稽古場は、記念館という木造作りの体育館でバスケットコートが一面とれる程の広さで有った事を記憶している。床は木目が浮き出ている、所々ササクレが有ったり、釘の頭が少し出ている床面であった。今思うとよく怪我也なく稽古が出来たと思う。（笑～）一中剣道部で剣道を習い始めて半年以上が過ぎた頃、友人から剣道の道場で修武館・伊澤道場が藤沢の花澤町にある事を聞き、両親に入門したい事を伝え許可を得て友人に連れられ、故伊澤善作先生にお会いした。

入門したいのですが、と言うと眼光鋭い目付きで少年の私を見つめた。これこそ、へビに睨まれたカエルの様であった。ピョンと跳ねて逃げようならば、捕まえて食べちまうぞ！程の勢いであった事を今でも鮮明に覚えている。

入門を許された私は1ヶ月程、少年の部で稽古を行った。稽古を始める前に門弟皆で道場訓を唱和する。

その道場訓の一節で、「それ剣は瞬速、心気力一致」と言う道場訓があった。打突する場合、剣は瞬速、速さが命であり、心と身体、身体と剣、気力が一致しないと有効打突に繋がらないのである。

還暦を4年後に控えた私は瞬速的な動きが徐々に衰えている今日ではあるが、この言葉の教えは誰が何と否定しようが曲げる訳にはいかない。

「それ剣は瞬速、心気力一致」この教えこそ生涯剣道の中に描く永遠の修行言語にして行きたい。力の続く限り剣は瞬速であり続けたいと念じている。

現在、藤沢市剣道連盟では、大会審査部会・指導教育部会・企画広報部会の3部会で計画的にまた、必要な情報を各部会で共有し合いながらの運営と青少年の育成に努めています。今日世界に誇れる伝統文化として我々が享受している事を忘れる事なく更に普及発展に努めてまいります。最後に、今後藤沢市体育協会のホームページを通じまして各種目協会が益々発展する事を願っております。

藤沢市剣道連盟
遠藤 浩



故 伊澤善作先生



H25年度 小学生強化練習会